

MWMワークリストの連携ソフトウェア



Link MWM Worklist

特徴 問い合わせのあったシステムに対して被検者情報をMWM接続で応答

取得した被検者情報を検査装置などからの要求に対して、MWM接続で応答するソフトウェアです。

一度取得した被検者情報を要求のあった装置と共有することができます。

被検者情報は以下の方法で取得します。

- ・ 手入力やバーコードのIDを基に被検者情報ファイル(CSV)から取得します。
- ・ QRコードや診察券などから被検者情報を取得します。
- ・ MWMサーバに検索した条件で被検者情報を取得します。

機能

被検者情報の取得

- ・ 手入力されたIDを基に被検者情報ファイル(CSV)から被検者情報を取得
- ・ MWMサーバから検索条件に一致する被検者情報を取得
- ・ バーコードリーダー(一次元/二次元)、カードリーダーから被検者情報を取得
(※二次元バーコードとカードリーダーはオプション)

被検者情報の応答

- ・ TCP-IP、RS232-C接続で応答
- ・ MWM接続で応答(オプション)

被検者情報の操作

- ・ 被検者情報の編集/新規作成
- ・ 被検者情報ファイル(CSV)から絞り込んで直接選択

検診コース別自動発番機能

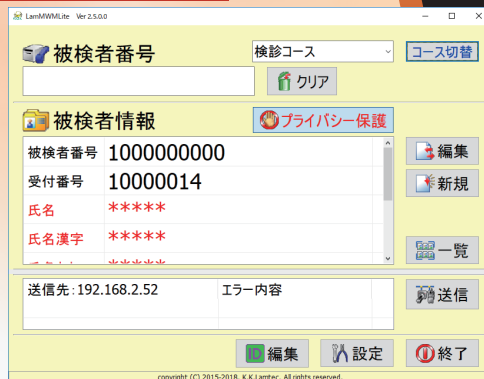
- ・ 検診コース別に受付番号と被検者IDを自動的に発番

DB検索(オプション)

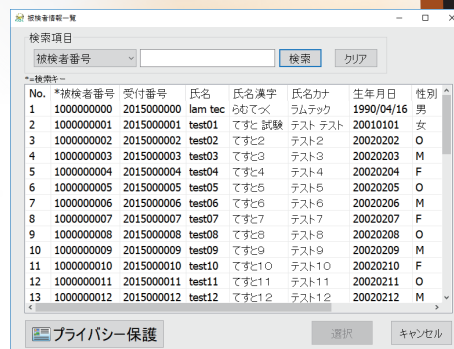
- ・ 取得した被検者情報を独自データベースに蓄積
- ・ 検索条件に一致する被検者情報をデータベースから取得可能

一体型ナンバーディスプレイ(オプション)

- ・ 撮影中の被検者情報を表示



メイン画面



被検者情報一覧画面

構成図

